



現代家族劇、日本代表！

ハイハイ
20周年 『て』

作・演出 岩井秀人

2025年1月8日(水) 18:30開演

9日(木) 13:00開演

オーバード・ホール 中ホール

現代家族劇、日本代表！ともいべき作品『て』が

劇団20周年の節目に富山初登場！

作家・岩井秀人の**実の家族**をモデルにしたこの作品は、祖母の認知症をきっかけに再集合した家族が、お互いの分かり合えなさに沈んでいく様を描いた**悲喜劇**です。息子（次男）と母親、二人の目線で同じ時間を繰り返すことで、「家族」という、切っても切れない関係を見せつけます。

2008年の初演以来、再演を重ねるたびに当日券を求める観客が列をなしてきた本作。是非、**富山公演をお見逃しなく！**

公演に関するお問合せ

(公財) 富山市民文化事業団 総務企画課

富山県富山市牛島町9-28 オーバード・ホール内

TEL. 076-445-5610 (平日 8:30~17:15)

<https://www.aubade.or.jp/>

作・演出 岩井秀人 メッセージ

ご覧いただいた方からは、「我が家の風景、なんで知ってんだあ！涙」と、ありがたい悲鳴をいただけるこの作品も、誕生から15年経ち、さすがに家族って進化したのかなと思いきや、全然世の中の家族問題、なくならないっすね。

「家族だから許せ」的な考え方をやめたらいいのに、と思いながらも、それでも最終的にこの作品が「願い」や「許し」について扱ってることに救いを感じつつ、またイチから作り直したいと思います。

あらすじ

山田家の4人兄妹は、かつて自分たちに手を上げていた横暴な父の元を離れ暮らしていたが、祖母の認知症をきっかけに、実家に再集合した。

父の過去の暴力について騒ぐ次男。それについて一向に触れようとしない長男。

「家族をやりなおそう」と希望を見せる長女。

そして兄妹たちが集まる。

酒に酔った父の発言を元に、山田家に再び、暗く熱を持った活気が蘇ってくる。



photo:引地信彦

ハイバイとは

2003年に主宰の岩井秀人を中心に結成。そもそも気まづいシチュエーションに、なんとも要領の悪い人や空回りするくらいの自意識を振りまく人、どこか世の流れに上手く乗っていけない感じの人たちが現れて、あたふたしているうちに目も当てられない状況になっていくのを笑っていると、まんまと人生の深淵を覗かされてしまうのがハイバイ。相次いで向田邦子賞と岸田國士戯曲賞を受けた岩井が描く、ありえそうだがありえないそんな世界を、「ありそうだぞ、いやこれが世界そのものだ!!」って思わせちゃうのもハイバイ。

岩井秀人（作家・演出家）



2003年ハイバイ結成。2012年NHK BSドラマ「生むと生まれるそれからのこと」で第30回向田邦子賞、2013年舞台「ある女」で第57回岸田國士戯曲賞受賞。近年は、パルコ・プロデュース「世界は一人」の作・演出、フランスジュヌビリエ国立劇場「ワレワレのモロモロ ジュヌビリエ編」構成・演出を務める。2020年以降、「いきなり本読み！」などプロデュース企画も積極的に行う。

公演情報

■作・演出：岩井秀人

■公演日時：2025年1月8日（水）18:30
9日（木）13:00

※全2回公演 各回30分前開場

■会場：オーバード・ホール 中ホール

■出演：大倉孝二 伊勢佳世 田村健太郎 後藤剛範 川上友里 藤谷理子
板垣雄亮 岡本昌也 梅里アーツ 乙木瓜広
岩井秀人 小松和重

■チケット：〈全席指定・税込〉一般：5,500円 U-25：3,000円

※未就学児入場不可

※U-25：鑑賞時25歳以下が対象。

ご入場の際に鑑賞者ご本人の年齢が分かる身分証明書をご提示ください。

※車椅子席は事前予約が必要です。アスネットカウンターのみ取り扱います。

■プレイガイド：アスネットカウンター TEL. 076-445-5511

（オーバード・ホール 大ホール1F）

営業時間10:00~18:00（定休日：月曜/月曜が祝日の場合翌平日休み、年末年始）

アスネットオンラインチケット <http://www.aubade.or.jp>

チケットぴあ（Pコード：529-529）、ローソンチケット（Lコード：55999）

■主催／株式会社WARE、ハイバイ、（公財）富山市民文化事業団、富山市

■共催／北日本新聞社、FMとやま

■お問合せ／（公財）富山市民文化事業団 総務企画課 TEL. 076-445-5610
〒930-0858 富山市牛島町9-28 <https://www.aubade.or.jp>